イ　製剤
(ｱ)　成分規格
本品は、ラクトバチルス　アシドフィルス（その１）製造用原体を培養した後、菌体を集め、β-グルカンを加え、乾燥し、賦形物質を混和した小片又は粉末である。
含量　本品は、定量するとき、１g中、表示量の10^{-1}～10^{2}倍個の生菌を含む。
確認試験
①　定量法により操作して発育した集落は、やや不規則又は正円、かつ半球状に隆起又は僅かに隆起し、表面及び周縁とも平滑又は粗ぞうで、乳褐色～茶褐色を呈する。
②　スライドグラス上に１白金耳量の水をとり、これに白金線を用いて定量法により操作して得られた集落をとり、かき混ぜて懸濁し、適当な大きさに広げ、室温又は遠火で乾燥する。次に、２～３回火炎の中を通過させて固定したものを試料とする。この試料につき、グラム染色法により試験を行うとき、青紫色～黒紫色に染まった桿菌又は長桿菌を認める。
③　定量法により調製した試料溶液を生菌剤定量法第２法により操作する。この際、試験用寒天培地として９号培地を用いることとし、36～38℃で２日間培養するとき、菌の発育は、不良である。
④　定量法により調製した試料溶液を生菌剤定量法第２法により操作する。この際、試験用寒天培地として１号培地を用いることとし、36～38℃で２日間培養するとき、菌の発育を認める。
⑤　定量法により調製した試料原液0.1mL又は定量法により操作して得られた集落を用い、乳酸生成能力試験法により試験を行うとき、乳酸の生成を認める。
⑥　定量法により操作して得られた集落を用い、アミグダリン及びセルビオースについて糖分解能力試験法第１法により試験を行うとき、試験結果は、ともに陽性である。
定量法
試料溶液の調製　ビフィドバクテリウム　サーモフィラム（その１）製剤の試料溶液の調製を準用する。
操作法　試験用寒天培地として１号培地を用い、生菌剤定量法第２法により操作し、36～38℃で２日間嫌気的に培養する。
(ｲ)　製造の方法の基準
ラクトバチルス　アシドフィルス（その１）製造用原体を培養した後、菌体を集め、β-グルカンを加え、乾燥し、賦形物質を混和して製造すること。
ただし、本品は、エンテロコッカス　フェシウム（その１）製剤と混合して使用すること。
(ｳ)　保存の方法の基準
密閉容器に保存すること。

ラクトバチルス　アシドフィルス（その２）
ア　製造用原体
(ｱ)　成分規格
本品は、*Lactobacillus acidophilus* GAL-２株を増殖させ、凍結又は凍結乾燥した製造用種菌である。
由来　原株は、1979年に鶏の糞便から分離された*Lactobacillus acidophilus* GAL-２株である。
物理的・化学的性質　ラクトバチルス　アシドフィルス（その１）製造用原体の物理的・化学的性質と同じ。
確認試験　ラクトバチルス　アシドフィルス（その１）製造用原体の確認試験を準用する。
(ｲ)　保存の方法及び継代の基準
ビフィドバクテリウム　サーモフィラム（その４）製造用原体の保存の方法及び継代の基準を準用する。
イ　製剤
(ｱ)　成分規格
本品は、ラクトバチルス　アシドフィルス（その２）製造用原体を培養した後、菌体を集め、乾燥し、賦形物質を混和した小片又は粉末である。
含量　本品は、定量するとき、１g中、表示量の10^{-1}～10^{2}倍個の生菌を含む。
確認試験　ラクトバチルス　アシドフィルス（その１）製剤の確認試験を準用する。
定量法　ラクトバチルス　アシドフィルス（その１）製剤の定量法を準用する。
(ｲ)　製造の方法の基準
ラクトバチルス　アシドフィルス（その２）製造用原体を培養した後、菌体を集め、乾燥し、賦形物質を混和して製造すること。
(ｳ)　保存の方法の基準
密閉容器に保存すること。

ラクトバチルス　アシドフィルス（その３）
ア　製造用原体
(ｱ)　成分規格
本品は、*Lactobacillus acidophilus* GBL-２株を増殖させ、凍結又は凍結乾燥した製造用種菌である。
由来　原株は、1979年に牛の糞便から分離された*Lactobacillus acidophilus* GBL-２株である。
物理的・化学的性質　ラクトバチルス　アシドフィルス（その１）製造用原体の物理的・化学的性質と同じ。
確認試験　ラクトバチルス　アシドフィルス（その１）製造用原体の確認試験を準用する。
(ｲ)　保存の方法及び継代の基準
ビフィドバクテリウム　サーモフィラム（その４）製造用原体の保存の方法及び継代の基準を準用する。
イ　製剤
(ｱ)　成分規格
本品は、ラクトバチルス　アシドフィルス（その３）製造用原体を培養した後、菌体を集め、乾燥し、賦形物質を混和した小片又は粉末である。
含量　本品は、定量するとき、１g中、表示量の10^{-1}～10^{2}倍個の生菌を含む。
確認試験　ラクトバチルス　アシドフィルス（その１）製剤の確認試験を準用する。
定量法　ラクトバチルス　アシドフィルス（その１）製剤の定量法を準用する。
(ｲ)　製造の方法の基準
ラクトバチルス　アシドフィルス（その３）製造用原体を培養した後、菌体を集め、乾燥し、賦形物質を混和して製造すること。
(ｳ)　保存の方法の基準
密閉容器に保存すること。

ラクトバチルス　アシドフィルス（その４）
ア　製造用原体
(ｱ)　成分規格
本品は、*Lactobacillus acidophilus* GSL-２株を増殖させ、凍結又は凍結乾燥した製造用種菌である。
由来　原株は、1979年に豚の糞便から分離された*Lactobacillus acidophilus* GSL-２株である。